

下:労務管理を請け負う農園でも、コミュニ ケーションを大切にしている。

## だいています。 事業所との連携も支援させていた 業者さんの障がい者雇用や、福祉 進めるためには、 あります。ただ、 障がい者さんが働くようになっ

誰かを雇用するためには、 通常の雇用ができる環境を整える が生まれるなど、良い変化は様々 経営改善や、職場にやさしい空気 ことが必要です。ご存じのとおり、 た農園では、作業の見直しによる 障がい者雇用を やはりその前に

者さん達が多くなってきました。 ちのところに相談に来られる農業 す。いきっかけになっていると思いま いく意味でも、障がい者雇用は良 うということを掘り下げて考えて てはより必要なものです。 の整備が必要となりますが、こう 障や労務管理など様々な労働環境 した保障は障がいのある方にとっ 人を雇

いご縁で、

たくさんの農業者の方々

うなのですが、

こうしたありがた

かるだろうとご紹介いただいたそ 農業の大変さや農家の気持ちが分

との親交につながりました。

また農業は単に農作物をつくる

## profile

# ■農業分野での労務管理

トを専門的に

こうした農業関係でのサポ

頃に、恩師である中小企業診断士

は、事務所を開業後まもなくした をさせていただくようになったの

伝いをさせていただいています。 管理や社会保障制度の整備のお手 仕事も多く、 の方からご依頼いただいているお させてもらっていますが、農業者 な業種の事業者さんとのお仕事を フで建設、製造、販売関係など様々 です。現在、 所を構える社会保険労務士事務所 当事務所は、東区大島町に事務 私を含め7名のスタッ 市内外の農園の労務

生まれ、

農業に誇りを持って働く

ます。私は、兼業農家の子として ていただいたのがきっかけにあり 人を探しているんだ」と声をかけ の先生から「農業の労務ができる

母の姿を見て育ちました。私なら

伺って講演することも多いので、 ができ大変うれしく思ってい 様々な方とのつながりができた ています。全国いろいろな地域に 向けた労務講座もさせていただい 中央会や農業会議などから講師と の行政機関のほか、農業協同組合 しての依頼を受け、農業経営者に また、農林水産省や県・市など また私自身視野を広げること

だけでなく、

環境保全や教育など

が関われることにも感謝してい

です。こうした分野に自分の仕事 非常に多面的な機能を持った産業

浜松市東区大島町で 1997 年 鈴木泰子社会保険労務士事 務所を開業。農業分野にお ける労務管理を多数手がけ るほか、行政機関等からの 依頼により農業経営者向け の労務講座を全国で精力的 に行う。静岡県社会保険労 務士会浜松支部理事、全国 農業経営支援社会保険労務 はままつ子育てネットワー クぴっぴ理事など多数の役 員を務め、活動は多岐に渡

"笑顔"つなぐ

ユニバーサル農業

鈴木泰子社会保険労務士事務所

はままつの

# ■農業者とともに取り組 んできた障がい者雇用

のお仕事させていただくようにな こうして農業における労務管理 ましたが、障がい者の雇用、 つ

り組んできました。今では他の農 実践を通して試行錯誤しながら取 思い、様々な支援制度も学ぶなど、 展につながるだけでなく障がいの だと思いましたが、農業経営の発 をいただいたのがきっかけです。 経営に取り入れていきたいと相談 ある方の手助けにもなるのではと ん、私にとっても大きなハードル いのある農園から障がい者雇用を わるようになったのは、お付き合 まりユニバーサル農業について関 当時、農業者にとってはもちろ

## ■変革の時代を迎える、 現在の農業

雇用型農業に取り組もうと、私た で持続的・発展的な農業を目指し、 を取りまく現状です。 など様々な課題を抱えるのが農業 来の家族経営の形も大切なもので 現状です。もちろん、こうした従 整備されていないことが多いのが か、就業時間や休暇などの条件も ために必要な社会保障制度のほ にありました。その中では雇用の れまでの農業は、家族経営が主体 代が来ていると感じています。 一方で、耕作放棄地や後継者不足 ように、今農業が変革していく時 「雇用型農業」という言葉がある メリットもあります。ただ こうした中



左:職場でもスタッフとの明るいコミュニケーションを大切にしている。職場環境の改善、人材育成など自分自 身も経営者として試行錯誤しながら、社会に貢献できる組織活動を目指している。

右:農業経営のための労務管理をサポートする様々な活動は、メディアで紹介されることも多い。







「雇用型農業」を目指す農業者のかけこみ寺として 日々相談を受ける泰子さん。農業者にとって経営改 善に向けた意識改革が大切という。

みます。 のトップランナーが生まれるので 社会にとって大きな相乗効果を生 とができ、連携が生まれ、それは できることで、広い視野を持つこ 福祉分野の色々な人とつながりが 私は、こうした先に農業

力を味方にし、発展していく時代 これから農業がいろいろな方の トができればいいですね。 私たちもできる限りのサ

はないかと思っています。

一緒に働く喜び、

働きがいや生き い。その先で、

しずつできればい

営です。だから、

できることから

ちろん前提に利益をあげることが

簡単にはいかないのが経

雇うってすごいことなんです 材が育ち、従業員がはつらつと働 が身についていく。こうした経験 乗り越えるための自分なりの方法 ないことがたくさん出てきます。 ね。人を雇うことで、考えない 求められることになります。 い社会貢献だと思っています。 ということだけでそれは素晴らし い経営が成り立ちます。 ですし、自然と人が寄ってきて良 そういう経営者は人として魅力的 す。いろいろな苦労や経験を踏ま も本当にそう感じているところで いる農業者のみなさんを見ていて 力を伸ばすものだと思っていま また失敗もたくさんして、 は、経営者のマネジメント能力が 私はいつも、雇用を発生させる 雇用型の経営になるということ 会社が次第に形作られていく。 けないこと、勉強しないといけ 私自身も開業の経験がありま サポ 良い職場環境が生まれ、 経営者のマネジメント能 トさせていただいて それを ŧ 会になります。 数は減っていくのですから、農業 口減少が目の前にあり、労働者の な方が今後はもっともっと働く社 したし、高齢者や外国人など、様々 い女性が働くのも一般的になりま いかなければいけません。昔と違 も働いてもらえる環境を整備して いていかないといけない社会にな ■これから迎える新しい社 障がい者雇用というテーマは、 と思います。現実問題として人 これからの社会は、みんなが働 会とユニバーサル農業

こそが、

がグローバルな視野を身に着けら れることも大切なことだと思いま つながるのではないでしょうか。 農業の概念がそうした取り組みに が必要です。 の意識改革や社会全体の取り組み 定着してもらうためには、農業者 こうした方々を農業に受け入れて つだと考えています。これから先、 また農福連携によって、農業者 通常であれば関わりの少ない まさにユニバーサル

そうした大きなくくりの中のひと

信頼できるスタッフたちとともに、 志を持った農業者たちを支援できる ことがなによりうれしい。

がいを創出できる経営者は素敵で